議第189号 公の施設の指定管理者の指定について

1 趣旨

呉市立美術館の指定管理者を地方自治法（昭和22年法律第67号）第244条の2第6項の規定により，あらかじめ呉市議会の議決を経て，指定しようとするものです。

2 公の施設の概要

施設名	呉市立美術館		
施設所在地	呉市幸町入船山公園内		
設置年月日	昭和57年8月21日（別館平成5年4月9日）		
設置目的	美術に関する市民の知識及び教養の向上を図り，文化の発展に資するための施設として設置する。		
設置条例	呉市立美術館条例		
施設規模等	<p>(1) 呉市立美術館本館</p> <p>構造・階数 鉄筋コンクリート造，地下1階地上2階建て</p> <p>敷地面積 78,867㎡（入船山公園）</p> <p>延べ面積 2,790.86㎡</p> <p>展示室面積 1,045.567㎡</p> <p>(2) 呉市立美術館別館</p> <p>構造・階数 鉄筋コンクリート造，地下1階地上1階建て</p> <p>延べ面積 781.74㎡</p> <p>展示室面積 232.36㎡</p>		
利用状況	利用者数	令和3年度	23,834人
		令和4年度	38,970人
		令和5年度	42,605人
指定管理業務に係る主要な決算の状況	令和5年度		
	【呉市分】		
	歳入	0千円	
	歳出	108,881千円	
	指定管理料	105,043千円	
	需用費（修繕料）	3,838千円	
	【指定管理者分】		
	収入	121,941千円	
	支出	122,757千円	
	※指定管理者の収支決算詳細については，別添「指定管理業務収支報告書」（参考資料1）を参照		
指定管理実績	平成27年4月1日～令和2年3月31日	公益財団法人呉市文化振興財団	
	令和2年4月1日～令和7年3月31日	公益財団法人呉市文化振興財団	

3 指定管理者の業務の範囲

- (1) 施設、設備等の維持及び管理に関する業務
- (2) 次に掲げる事業に関する業務のうち呉市教育委員会が指定する業務
 - ア 美術品等を収集し、保管し、又は展示して、市民の利用に供する事業
 - イ 美術に関する講演会、講習会、講座等の開催に関する事業
 - ウ 美術に関する集会及び展示のための施設の提供に関する事業
 - エ 美術品及び美術館資料に関する調査及び研究に関する事業
 - オ アからエまでに掲げるもののほか、呉市教育委員会が必要と認める事業
- (3) 呉市立美術館の入館及び呉市立美術館の施設のうち第1展示室、第2展示室、第3展示室、第4展示室、講座室及び展示コーナーの使用の許可に関する業務
- (4) 上記の業務に付随する業務

4 指定期間

令和7年4月1日から令和12年3月31日まで（5年間）

5 団体（候補者）の概要

団体名	公益財団法人呉市文化振興財団
団体所在地	呉市中央3丁目10番1号
代表者氏名	理事長 明神 博
設立年月日	昭和57年4月19日
設立目的	市民の文化芸術活動の振興に関する事業を行い、市民文化の向上、発展に寄与することを目的とする。
事業概要	(1) 呉市文化ホール及び呉市民ホール等における文化芸術振興事業 (2) 呉市立美術館における文化芸術振興事業 (3) 施設利用者サービス事業 (4) その他この法人の目的を達成するために必要な事業
基本財産	269,448千円
職員数	30人
役員	評議員 阿原 亨 片岡 慶行 川野 祐二 佐藤 光子 川畑 勝之 寺本 有伸 向井 淳滋 元中 裕子 理事長 明神 博 副理事長 賀谷 隆太郎 常務理事 小松 良三 理事 黒瀬 基郎 神津 直 小谷 眞喜子 福岡 幸恵 古川 竜彦 柳曾 隆行 多田 博 大野内 愛 堀口 悟史 監事 小松 史洋 出本 宏
決算	令和5年度

収入	422,016千円
支出	422,004千円

6 団体（候補者）から提出された事業計画書の概要

管理運営上の基本方針	<p>(1) 美術・芸術に関する市民の知識及び教養の向上を図り，文化の発展並びに教育，学術研究に資することにより，地域振興に貢献することを目的として管理運営に当たる。</p> <p>(2) 関係法令を遵守し，適切に管理運営を行う。</p> <p>(3) 公の施設であることを念頭に置き，公益性を保持するとともに，公平な管理運営を行う。</p>
管理運営体制	<p>館長1名の下に副館長1名を配置する。また，館長・副館長を含む職員10名（うち学芸員5名，防火管理者1名）を適宜配置し，効率的かつ安定的な管理を行う。</p>
施設の維持管理	<p>(1) 取り扱う全ての個人情報について，収集の規制や適正な管理，また，職員への研修の徹底を行い，法令を遵守し，厳正に個人情報の保護を行う。</p> <p>(2) 来館者及び作品の安全を確保するため，職員による防犯カメラの映像のチェックや，展示室内の巡回監視等を行う。開館時以外は，専門の警備会社に業務委託し，機械警備とする。</p> <p>(3) 日頃より施設担当職員を中心に施設点検を実施し，来館者の安全と快適性を確認する。また，作品保存環境を管理するため，空調が適正に稼働しているか温湿度の点検を行い，貴重な美術品の保全に努める。</p> <p>(4) 緊急時においては，災害等の情報収集を迅速に行い，状況を財団事務局及び市の所管課に伝え，把握した情報については，随時報告を行う。</p>
利用促進の取組	<p>(1) 多ジャンル・時代・地域にわたるバラエティーに富んだ優れた展覧会を開催するだけでなく，蘭島閣美術館や大和ミュージアムとの共催事業など，呉ならではの個性ある企画展を開催し，市民の多様なニーズに応えるとともに，来館者の増大を図る。</p> <p>(2) 呉市立美術館の中核をなす所蔵作品を体系化して，その特徴や魅力を把握し，「宝」として打ち出すことにより，呉市立美術館への興味・関心を高揚させるよう努める。</p> <p>(3) 話題性のある優れた展覧会の開催や関連イベントを実施することによって，文化・観光・地域活性化等において，期待される役割を果たす。</p>
自主事業その他サービス向上の取組	<p>(1) 一般の社会人を対象とした各種の講座を新たに開催し，美術文化の普及を図る。</p> <p>(2) 小・中・高等学校の図工・美術担当教員との意見交換等により，学校との連携を深め，各年代の興味関心・発達段階・教育的ニーズに適した教育普及事業を検討する。</p> <p>(3) 地域の芸術家への支援のため，展示室を積極的に利用する。</p>

経費削減の取組	<p>(1) 日常点検及び定期点検を着実に実施し，簡易な調整や小修繕については職員が行うことや，外部委託が必要なものについては，競争入札や複数年契約を行うなどして経費の削減に努める。</p> <p>(2) 職員が自律的な経営を展開して行くという「経営マインド」を自覚し，効率的な管理運営体制の構築を目指す。</p>
---------	---

7 団体（候補者）から提出された期間中の収支計画

別添「指定管理業務収支計画書」（参考資料2）のとおり

8 選定委員会による審査結果の概要

(1) 申請者

団体名	団体所在地	代表者氏名
公益財団法人呉市文化振興財団	呉市中央3丁目10番1号	理事長 明神 博

(2) 審査基準

募集方法が非公募であったため，申請要項においてあらかじめ示したとおり，採点による審査を行わず，基準ごとにその適否を審査したものです。

審 査 基 準	判 定
<p>ア 事業計画書等の内容が，利用しようとする者の平等な利用が図られるものであること。</p> <p>【主な評価の視点】</p> <p>利用者の平等な利用の確保 不当な利用制限項目の有無 特定の者のみに有利な利用形態の有無</p>	適・否
<p>イ 事業計画書等の内容が，施設の適切な維持及び管理が図られるものであること。</p> <p>【主な評価の視点】</p> <p>適正に管理を行える体制（人員配置等） 適正かつ確実な維持管理 施設の設置目的や性格，関係する法令，条例等についての理解 収蔵品の適正な保守管理 苦情への対応や個人情報の取扱い 事故・災害等の緊急事態に対応可能な体制</p>	適・否
<p>ウ 事業計画書等の内容が，利用促進が図られるものであること。美術に関する市民の知識及び教養の向上，文化の発展に資するものであり，具体性・現実性があること。</p> <p>【主な評価の視点】</p> <p>施設の利用促進に係る具体的な取組（サービス向上等） 利用者数等の数値目標 利用者の要望（ニーズ）把握に係る具体的な取組 各施設の特徴を生かした独自性のある提案</p>	適・否

市の美術に関する市民の知識及び教養の向上，文化の発展を意識した事業の内容 自主事業の内容	
エ 事業計画書及び収支予算書の内容が，適切かつ管理経費の縮減が図られるものであること。 【主な評価の視点】 適切な収支計画書の規模・内容 適切な提案額 管理経費の縮減のための工夫	適・否
オ 施設の管理を安定して行う能力を有するものであること。 【主な評価の視点】 経営状況 安定した管理を行える体制（有資格者の配置等）	適・否
カ その他施設の設置目的又は性格等に応じて別に定める基準 【主な評価の視点】 職員の雇用についての考え方 市又は教育委員会の施策との連携 地域住民への配慮	適・否
総 合 判 定	適・否 ※否は失格

(3) 審査結果

申請者	公益財団法人呉市文化振興財団	【評価した点】 (1) 基本方針の中で，行動計画が明確に示されている。 (2) これまでの反省点に基づき，公立美術館としての役割を再認識し，新たな取組が提案されている。 (3) 他機関との連携の必要性を強く認識しており，今後も工夫・改善をした企画等が期待できる。
総合判定	適	
【内訳】		
審査基準ア	適	
審査基準イ	適	
審査基準ウ	適	
審査基準エ	適	
審査基準オ	適	
審査基準カ	適	

(4) 選定委員会委員名簿

	氏 名	所 属 等
委員長	市川 一雄	呉市文化スポーツ部副部長
副委員長	朝倉 淳	広島大学名誉教授
委員	山田 知子	比治山大学現代文化学部教授
	松本 美幸	税理士
	吉田 実	公益財団法人中国地域創造研究センター 調査・研究部 地域づくりグループ長 主席研究員
	岡本 隆寛	呉市美術協会副会長

9 選定の理由

(1) 非公募での選定理由

当該施設は、調査研究や学芸員の人材育成など、その業務の特殊性から、専門性・継続性が求められ、かつ、長期的展望に立った事業展開が必要であり、また、収蔵品の管理や教育普及事業の実施など、他の公共施設と比べ、より公益性の高い安定的・効果的な管理運営が必要な施設であることから、施設の管理運営に関するノウハウや知識・経験を有する公益財団法人呉市文化振興財団が管理運営をすることが効果的であるため、非公募による選定手続を行ったものです。

(2) 選定委員会での審査

公募により指定管理者の候補者選定を行う場合に準じて、民間の専門的な知識を有する有識者等を含む委員をもって組織する選定委員会により、指定管理者としての適否審査を行いました。

その結果、公益財団法人呉市文化振興財団が指定管理者として適当であると認められたため、当該団体を指定管理者の候補者として選定したものです。